

1. 概要

ホールは舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備などの設備を保有しているが、利用用途毎に必要な設備に違いがあり、**各ホールの利用目的に適した設備を設置する必要がある**。現状、本市においては、多くの設備を保有しているホールが多いが、**ホールによっては利用頻度の少ない設備があり**、利用頻度が少なくても維持管理経費が必要となることから**保有する設備の適正化を図る必要がある**。

ホールの役割分担の検討においては、利用用途毎に必要な設備を整理した上で、各ホールの保有している設備を考慮しながら、最適な役割分担の検討を行っていく必要がある。

そこで、**各ホールの保有している設備を整理するとともに、関係団体など（文化芸術団体、利用団体、施設管理者）へアンケートを実施し、利用用途毎に必要な設備の整理を行った。**


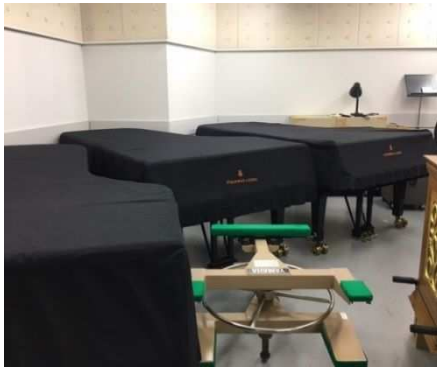

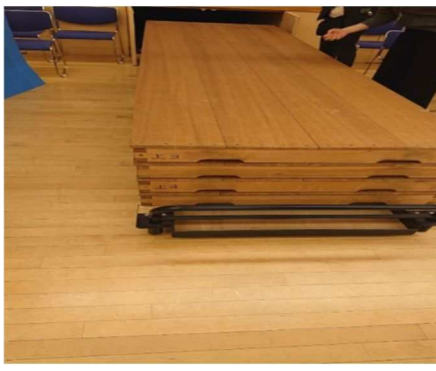

2. ホールの設備

ホールは、吊物機構や音響反射板、幕類などを有する舞台機構設備、サスペンションライトやボーダーライト、調光操作卓などを有する舞台照明設備、スピーカーや三点吊マイク、音響調整卓などを有する音響設備等があり、また、備品においてもピアノや平台、所作台などがあり、利用目的などにより、各ホールで様々な設備を保有している。

	舞台機構					
	吊物機構 (大道具、照明、幕バトン)	床機構 (舞台迫り、オークストラピット)	音響反射板 (天井・正面・側面反射板)	緞帳 (本緞帳、オペラカーテン、定式幕)	黒幕 (一文字幕、袖幕、暗転幕、大黒幕)	白幕 (ホリゾン幕、スクリーン)
設備						
概要	吊物機構は大道具や舞台幕、照明器具などを吊り、昇降させる機構である。吊物機構の種類には照明バトンや幕バトンなどがあり、動作方法には手動または動力のシステムがある。	床機構は舞台床に設置された昇降、走行、回転を行う機構である。スピーディーな舞台転換、効果的な演出、立体的な舞台を構成するために使用される。また、大道具等の搬入・搬出に使用する場合もある。	音響反射板はプロセニウム形式の多目的ホールを、コンサートホール形式に変えるための舞台機構設備である。舞台上の演奏音を客席側へ反射させて、また同時に演奏者自身にも音を返し、演奏に適した音質の空間を作る。	緞帳は舞台と客席を仕切る幕である。舞台の一番前に吊られており、開演時、終演時及び休憩時などに使用される。緞帳類には、緞帳、絞り緞帳、オペラカーテン、定式幕があり、演目により使う緞帳の種類は違うが、基本的に同じ目的を持っている。	黒い幕は、見えないように隠す目的や、両角（間口とタッパ）を構成する。照明器具の明かりが抜けにくいことが重要である。原則として、1つの施設においては、袖幕・一文字幕をはじめ、同じ布地を使用する。	白い幕は演出意図に合わせて照明や映像を投影し、演出効果を高める目的で使用される。照明や映像を投影して演出効果を高めるホリゾン幕、映写機やプロジェクターで映像を写すスクリーンがある。

		舞台照明				
		照明（舞台側） （サスペンションライト、ボーダーライト、ホリゾンライト、トメンタルワー）	照明（客席側） （フロントサイドライト、シーリングスポット、フォロースポット）	調光操作卓		
設備						
概要		<p>舞台照明は単に舞台を明るくするという以上、舞台芸術における様々な演出に応える情景を照明によって作り出すためのものである。</p> <p>舞台側には、舞台上部から舞台上を照射するためのサスペンションライト、舞台全体を均一に照らすボーダーライト、舞台後部のホリゾン幕や背景幕に均一に照明して、明るさや色を与えるホリゾンライトなどがある。また、客席側には、客席の左右両側から舞台へ投射するフロントサイドライト、客席正面の上部から舞台を照射するシーリングライト、客席側から舞台上の出演者の動きに合わせて動かすフォロースポットなどがある。</p> <p>舞台照明は観客の目に触れるのは、照明器具から出る光であり、照明デザインを計画する上で、用途や目的、上演演目、演出方針の違いによる、照明器具や光源の特性、性能、数量などの選択が重要である。</p>			<p>オペレーターが操作することによって、作品における照明シーンを再生するための装置である。多様な照明器具の照度を調整することによって、多種多様な舞台照明デザインの実現を可能にする、舞台照明の根幹をなすものである。</p>	

		舞台音響			
		音響装置 （スピーカー、パワーアンプ、マイク）	録音再生器	音響調整卓	三点吊マイク
設備					
概要		<p>音響装置には、ホールの観客と舞台音響設備の接点であるスピーカー、スピーカーを駆動するために電力増幅に特化したパワーアンプ、空気振動を音声電気信号に変えるマイクなどがある。スピーカーには、客席の壁面に設置されるウォールスピーカー、客席天井部に設置されるシーリングスピーカーなどの常設スピーカー、自由に設置できる移動スピーカーがある。</p>	<p>録音再生器は、CDレコーダー、MDレコーダー、ハードディスクレコーダー、メモリーレコーダーなどがある。舞台音響では録音された音を再生することも重要である。</p>	<p>音響調整卓は多数のマイクや再生機器類からの入力信号をミキシングして、常設スピーカーや移動スピーカーなど、多数の出力系統へ送っている。ホールでは音響調整室の音響調整卓がシステムの要である。</p>	<p>3本のワイヤーで吊り下げるマイクロホン装置のことで、主にホールや劇場の客席前部の天井に設置されている。三点吊マイクロホンは、演奏など録音のメインマイクのほか、ノイズ收音用、エアモニター用のマイクとしても使用される。</p>

	その他				
	プロジェクター	ピアノ	平台	所作台	松羽目、竹羽目
設備					
概要	プロジェクターは映像コンテンツの投影だけではなく、舞台美術や照明の補助的な役割や、映像ならではの演出効果を担うなど、様々な目的で使用されている。	ピアノは音域や音量の幅、用途の幅広さなどが長所であり、独奏だけではなく、オーケストラ等との協演も得意とし、オールマイティな性能を持つ。	舞台の上で高低をつける為の床（二重・山台）で、主にオーケストラ他演奏者のひな段・屋台造りに使用される。	主に能・歌舞伎・日舞等で使用する、足拍子がよく鳴るよう設計し製作された台。天板の材質は桧系無節材が使用される。	松羽目は大きな松の絵が描いてあるもので、歌舞伎や能、日本舞踊など日本の伝統芸能を上演するときに使用される。「所作台」とともに使用するのが一般的である。

3. 本市の各ホールの保有設備

- 約4割の施設（労働会館、スポーツ・文化総合センター、総合福祉センター、川崎市民プラザ、宮前市民館、多摩市民館、麻生市民館の7施設）で全ての設備を保有しており、多目的な利用が可能である。
- 産業振興会館、幸市民館、中原市民館、高津市民館、男女共同参画センターについても多くの設備を保有しており、多目的な利用が可能である。

施設	舞台機構						照明設備			音響設備				その他（備品）				
	吊物機構	床機構	音響反射板	緞帳類	黒幕類	白幕類	照明（舞台側）	照明（客席側）	調光操作卓	音響装置	録音再生器	音響調整卓	三点吊りマイク	プロジェクター	ピアノ	平台	所作台	松羽目、竹羽目
川崎市立労働会館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
スポーツ・文化総合センター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎能楽堂	有	無	無	無	無	無	有	有	有	有	有	有	無	有	無	有	有	有
川崎市産業振興会館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	無	有	有	有	無	無
ラゾーナ川崎プラザソル	有	無	無	無	有	有	有	有	有	有	有	有	無	有	有	有	無	無
川崎シンフォニーホール	有	有	有	無	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	無	無
幸市民館	有	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	無
川崎市総合自治会館	有	無	無	無	無	有	有	有	有	有	有	有	無	有	有	有	無	無
川崎市国際交流センター	有	有	無	無	有	有	有	有	有	有	有	有	無	有	有	有	無	無
中原市民館	有	無	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	無
川崎市コンベンションホール	有	無	無	無	無	有	無	有	有	有	有	有	無	有	無	有	無	無
川崎市総合福祉センター	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市民プラザ	有	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
高津市民館	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	無
川崎市男女共同参画センター	有	無	有	有	有	無	有	有	有	有	有	有	有	無	有	有	無	無
宮前市民館	有	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
多摩市民館	有	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
麻生市民館	有	無	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有
川崎市アートセンター	有	無	無	無	有	有	有	有	有	有	有	有	無	有	有	有	無	無

※設備の有無の判定に性能・仕様等は考慮していない

4. 利用用途毎の必要な設備

(1) アンケート調査

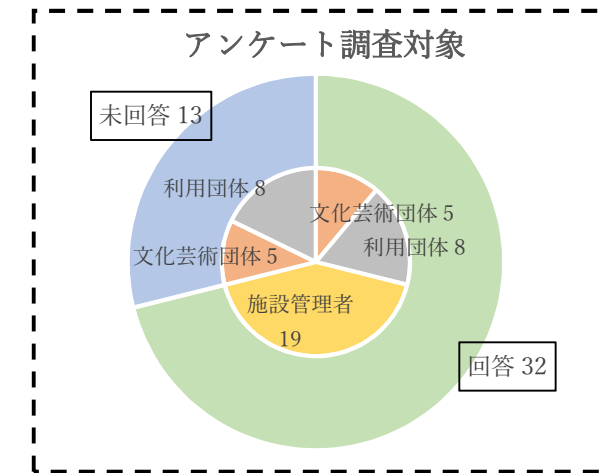
ホールを利用する際に、利用用途毎に使用する設備について、45の関係団体など（文化芸術団体（10団体）、利用団体（16団体）、施設管理者（19施設））を対象にアンケートを実施し、32の関係団体などから回答を得た。

アンケートは、ホールのあり方検討にあたっての基本的な考え方にある「利用用途別利用割合」を基本とした17の利用用途を対象とし、各設備の利用頻度を4段階（「◎：必ず使用する、○：使用することが多い、▲：あまり使用しない、×：使用しない」）で照会した。

アンケート結果から、利用頻度を点数化（「◎：3点、○：2点、▲：1点、×：0点」）し、平均点から「2.50以上：◎、1.50～2.50未満：○、0.50～1.50未満：▲、0.50未満：×」として判定した。

判定方法のイメージ

設備 用途	a	b	c	d	平均点	判定
A	○	▲	▲	▲	1.25	▲
B	▲	◎	○	○	2.00	○
C	×	▲	×	×	0.25	×



(2) 利用用途毎の必要な設備

- オーケストラや吹奏楽などの「音楽」は音響反射板、三点吊マイク、ピアノ、平台が必要となる。一方で、舞台機構の吊物機構や幕類は不要となる。
- 演劇、ダンス、バレエなどの「演劇・ダンス等」は床機構、音響反射板、三点吊マイクは不要であるが、それ以外の舞台機構、照明設備、音響設備は必要となる。「音楽」と必要とする設備が相反する。
- 日本舞踊・能や太鼓などの「伝統芸能等」は、「演劇・ダンス」と同様の設備を必要とし、日本舞踊・能など、用途によって所作台、松羽目・竹羽目も必要となる。
- 「その他」は、カラオケ、映画会は音響設備のほか、照明設備や白幕類が必要であり、「演劇・ダンス」に必要な設備を保有するホールであれば利用可能である。また、会議、展示会、健康診断は必要とする設備は少なく、どのホールでも利用可能である。
- 音響装置（スピーカー、アンプ、マイク）は全ての用途で必要となる。

分類	利用用途	舞台機構						照明設備			音響設備				その他				
		吊物機構	床機構	音響反射板	緞帳類	黒幕類	白幕類	舞台側照明	客席側照明	調光操作卓	音響装置	録音再生器	音響調整卓	三点吊マイク	プロジェクター	ピアノ	平台	所作台	松羽目、竹羽目
音楽	オーケストラ	×	▲	○	▲	×	×	▲	▲	▲	○	▲	▲	○	×	○	○	×	×
	吹奏楽	×	▲	○	×	×	×	×	▲	▲	○	▲	▲	○	×	○	○	×	×
	合唱	×	▲	○	×	×	×	▲	▲	▲	○	▲	▲	○	×	○	○	×	×
	ピアノ	×	▲	○	×	×	×	▲	▲	▲	○	▲	▲	○	×	○	×	×	×
演劇・ダンス等	演劇・ミュージカル	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	▲	○	×	×
	ダンス	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	バレエ	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	幼稚園等生活発表会	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	▲	○	○	×	×
伝統芸能等	日本舞踊・能	○	×	×	▲	▲	▲	○	○	◎	○	▲	○	×	×	×	○	○	○
	邦楽	○	×	×	▲	○	▲	○	▲	○	○	▲	○	×	×	○	×	×	
	落語	○	×	×	▲	○	▲	○	○	○	○	▲	○	×	×	○	×	×	
	太鼓	○	×	×	▲	○	▲	○	○	○	○	▲	▲	▲	×	×	×	×	×
その他	会議・セミナー等	▲	×	×	×	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	○	×	▲	×	▲	×	×
	カラオケ	▲	×	×	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○	○	×	×	×	▲	×	×
	映画会	×	×	×	×	▲	○	▲	×	▲	○	○	○	×	○	×	×	×	×
	展示会	×	×	×	×	×	×	▲	▲	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
	健康診断	×	×	×	×	×	×	▲	×	×	▲	×	▲	×	×	×	×	×	×

利用用途によって必要とする設備に一定の傾向が見られ、音響反射板や三点吊りマイクなどを必要とする「音楽」、吊物機構や幕類、照明設備等を必要とする「演劇・ダンス等」、吊物機構や照明設備、平台等を必要とする「伝統芸能等」、必要とする設備が少ない「その他」の4分類に分けることができる。